



## 「平成27年度法人指定寄付金」対象事業へのご協力のお願い

法人の皆さまからお寄せいただいた寄付金を活用して、「災害への備え」の充実強化を行います。

- ①県内各市町の災害救援車の更新……………約1,000万円
- ②救援物資(タオルケット)の整備……………約840万円
- ③災害救護のための看護師の養成……………約200万円

募集期間:平成27年4月1日～9月30日

この事業への寄付は、税制上の優遇措置が適用され全額を損金算入することができます。(法人税法第37条第3項第2号に該当)ただし、兵庫県支部では、10万円以上の寄付金に対し優先的に適用することとしております。

※募資金額に達した時点で終了となりますのでご了承ください。  
募資金額に達した場合や募集期間外など、指定の要件を満たさなくなるときは「特定公益増進法人に対する寄付金」の扱いとなります。



100万円以上のご協力をいただいた法人様には、貴社名を車両に記載します



詳しくはお問い合わせください。☎ 078-241-8921 (振興課)

## 講習のご案内

お問い合わせは、お電話またはホームページで ☎ 078-241-1499 (講習係)

救急法基礎講習(1日受講)	
9/26 <sup>土</sup> 10/24 <sup>土</sup>	13:00～17:30
救急法救急員養成講習(2日間受講)	
9/12 <sup>土</sup> ・13 <sup>日</sup>	9:30～17:30
救急法基礎・救急員養成講習(3日間受講)	
9/19 <sup>土</sup> ・20 <sup>日</sup> ・21 <sup>月</sup> 10/10 <sup>土</sup> ・11 <sup>日</sup> ・12 <sup>月</sup>	9:30～17:30(初日は13:00～)
健康生活支援講習(6日間受講)	
10/6 <sup>火</sup> ・13 <sup>火</sup> ・20 <sup>火</sup> ・27 <sup>火</sup> ・11/4 <sup>火</sup> ・10 <sup>火</sup>	13:00～16:00(最終日は～16:30まで)

科目別講習	講習の一部のテーマを短時間で習得できます。
健康生活支援講習	災害時高齢者生活支援講習 (災害が起こった時、支援できること) 10/4 <sup>日</sup> 10:00～12:00
幼児安全法講習	乳幼児の災害時支援 10/4 <sup>日</sup> 13:00～15:00
救急法講習	骨折の手当と搬送法 10/17 <sup>土</sup> 10:00～12:00
救急法講習	AEDを使用した一次救命処置 10/17 <sup>土</sup> 13:00～15:00

◇申込期日は開催日(初日)の一カ月前までです。◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

# ひよごこの赤十字

2015 August 8月

## 全国赤十字救護班研修会を開催



- 中東ヨルダンに看護師を派遣
- 「まもるいのち ひろめるぼうさい」防災教材が完成
- 兵庫県日赤有功会が結成50周年記念総会を開催
- 「平成27年度法人指定寄付金」対象事業へのご協力のお願い
- 講習のご案内



日本赤十字社 兵庫県支部  
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1丁目4番5号

☎ 078-241-9889

赤十字 兵庫 検索



# 全国赤十字救護班研修会を開催

～日赤救護班の初動活動の強化・レベルアップのために～

7月4日から6日までの3日間、平成27年度第1回全国赤十字救護班研修会が兵庫県支部を会場に開催されました。受講者は全国33の支部・施設の医師、看護師、薬剤師、主事など74名。兵庫県支部からも姫路・柏原赤十字病院の9名が参加しました。

研修では、日本赤十字社の災害医療資源を生かし、発災から48時間以降を見据えた超急性期の災害医療に対応できる救護員を育成することを目的に、災害医療の考え方についての講義のほか、局地・近隣災害や広域災害における遠隔地派遣などさまざまな想定で行われたグループワーク、救護所展開についての机上シミュレーション、通信やトリアージ(治療の優先度判定)の方法についての実習などが行われました。また、被災現場の救護所での傷病者の救護や後方支援病院への搬送などを想定した総合実習などを行い、災害救護に必要な知識と技術の向上とともに実践的な技術の習得に努めました。

救護員が災害現場での活動の理解を深め連携を図ることが迅速な救護活動につながります。日本赤十字社の重要な使命である災害救護のレベルアップのため、今後もこのような研修や訓練に取り組んでまいります。



話し合いの結果を発表中に指導スタッフに突っ込まれ、たじろぐ場面も



傷病者を観察し治療の優先度を判定



レントゲン画像を確認しながら初期診療にあたる医師と看護師



傷病者の搬送要請のためトリアージの情報を無線で伝える主事



# 中東ヨルダンに看護師を派遣

～難民などの紛争犠牲者支援のために～

姫路赤十字病院の高原美貴医療社会事業副部長(看護師)が、このたび紛争犠牲者支援のため中東のヨルダン・ハシミテ王国に6月16日から派遣されました。

シリアでは、内戦がまだ終息の兆しを見せておらず、隣国であるヨルダンへの難民の流出が続いており、その数は75万人とも言われています。(2015年1月・国連発表)

この支援は、国際赤十字・赤新月社連盟が中東地域紛争犠牲者支援事業の一環として取り組んでいるもので、主に難民を対象とした保健プログラムを支援しています。高原さんは、特に女性と子どもたちに焦点をあてた病気の予防や早期対処のほか、こころのケアなど必要に応じた支援に取り組む予定です。



爆撃を受けたシリアの街 ©SARC



報道機関から取材を受ける高原さん



# 「まもるいのち ひろめるぼうさい」防災教材が完成



～授業ですぐに使える青少年赤十字防災教育プログラム～

将来起こりうる自然災害に対して、未来を担う子どもたちにこそ、正しい災害の知識を持ち、自分の命は自分で守る防災の意識を高めてもらうことが重要です。日本赤十字社では、学校教育を通じて、子どもたちの防災意識を高め、命を守る力を身につけてもらう青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」を今年度から本格的にスタート。ただ単に災害の知識や避難方法を得るだけでなく、命の大切さや想像力、コミュニケーション力などを養う内容となっています。テキストとDVD、データ集で構成された教材は、制作にあたり防災教育の第一人者や気象庁の協力を得て模擬授業を重ね、そして子どもの目線で、またカスタマイズできるなど教育現場の声を最大限生かし、授業ですぐ使えるようさまざまな工夫がされており、青少年赤十字加盟校だけでなく、今後順次、全校に配付いたします。阪神・淡路大震災から20年、東日本大震災から4年が経過。自然災害に向き合ってきた日本赤十字社と現場の教員が開発・制作した「授業ですぐ使える防災教材」をぜひご活用ください。



教材は小学1-3年生用、小学4-6年生用、中学・高校生用の3種類

DVDは、小学1-3年生用ではアニメキャラクターが、小学4-6年生用と中学・高校生用ではジャーナリストの池上彰さんが解説、女優の伊藤歩さんがナビゲーターとして出演。

教材(映像以外)はこちらからダウンロードできます。  
<http://nisseki-jrc-bousai.com/>

「まもるいのち ひろめるぼうさい」が、「第9回キッズデザイン賞」を受賞!

キッズデザイン賞とは、「子どもが安全に暮らす」「子どもが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」ための製品・空間・サービスの中から優れたものを選び、広く社会へ伝えることを目的とした顕彰制度です。(主催:キッズデザイン協議会、後援:経済産業省、消費者庁)



# 兵庫県日赤有功会が結成50周年記念総会を開催

7月10日、ANAクラウンプラザホテル神戸にて、兵庫県日赤有功会結成50周年記念総会が開催されました。同会は、赤十字への資金協力などのご功績により、有功章を受章された方々で組織され、「会員相互の親睦を図り、赤十字の良き友として世のため人のために微力を尽くすこと」を目的に昭和40年5月に発足。現在529人が在籍され、赤十字活動を側面から支え続けてくださっています。



贈られた感謝状を手に井戸支部長と記念撮影の北村会長(右)



総会では、はじめに井戸支部長、玉田神戸市副市長の祝辞がありました。また、本会活動の一つである仲間づくり運動でご功労いただいた方々への感謝状の贈呈や米寿を迎えられた方々へのお祝いのほか、本会の永年にわたるご支援に対し井戸支部長から本会へ感謝状が贈呈されました。続いて、神戸赤十字病院の小澤院長による「超高齢社会を生き抜く」と題した記念講演が行われ、興味深く聞き入っておられました。北村喜八郎会長は「世界各地で災害が多発する昨今、赤十字が果たす役割は大きい。今後も赤十字活動を支えるため、仲間づくりに取り組みたい」と話されました。

いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます

口座記号番号: 01110-0-1136

口座加入者名: 日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。